

“創る”コラボプロセス: the Collabo Way (コラボ・ウェイ)

コラボ経営研
の
実践方針

基本的な考え
・“最適解”は自らにある
・主体的に自らの知恵で創る

・有効な解は外から与えられるものではなく組織内部の
コラボレーションから 生まれ、機能する
・組織内の知恵で自ら問題・課題の解を考え、実践する。
そのプロセスを効果的にガイドするのがコラボ経営研

コラボレーションで
・ソリューションを創り
・人材を創る

コラボ・ウェイ the Collabo Way 標準プログラム

経営ニーズ、個や組織のニーズにマッチした
テーラーメイドなプログラムを企画、実践

Step 1: コラボの環境(場とプロセス)づくり

- ・社員参加のコラボ・チームづくり
- ↓
- ・チームの目標の理解と共有
- ・プロセス(進め方、適用手法etc)の検討、決定

Step 2: 組織のトップとのコラボによる目標共有

- ↓
- ・トップと参加メンバーとのダイアログ(対話)
による目標の理解・共有

Step 3: マネジメントの課題の抽出、評価

- ・パーソナルプログラム
個発想による課題の評価と解決策の提起
- ↓
- ・チームプログラム
個発想をチームコラボで展開
- 2つの「創る」目的を達成すること!

- ・「ソリューション」(課題解決の施策)を創る
- ・課題解決の「プロセス」を創る

Step 4: ソリューション(施策)の組織的承認と実践

- ↓
- ・トップとのコラボレーション
- ・トップの視点(経営)で施策の評価、レベルアップ
- ・組織としての承認、実践のための計画化

Step 5: 施策の導入実践、フィードバック

コラボ経営研の役割 コーチ役 + 促進役 + コンサル

基本的な考え方

- ・自らの参画意識と知恵のコラボで
有効な施策は生まれ、組織に根付く

役割

- ・気づきを誘発し施策づくりの企画から
組織内浸透のプロセスをコーチ、
促進(ファシリテート)する
- ・幹部、リーダー、メンバーへの
コーチング
- ・気づきと知恵だしの促進役
- ・「施策づくり」チームの設置・運営
- ・施策づくりのコンサルテーション
- ・ベストプラクティスからの学び
- ・異質からの学び
- ・施策の現場導入、実践 & 継続評価、
フィードバックして改善をコンサル